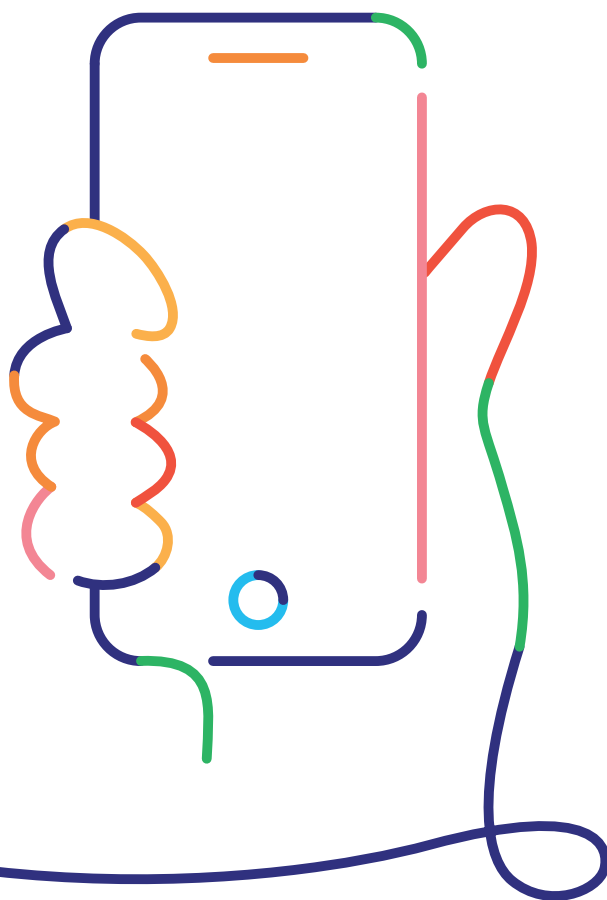
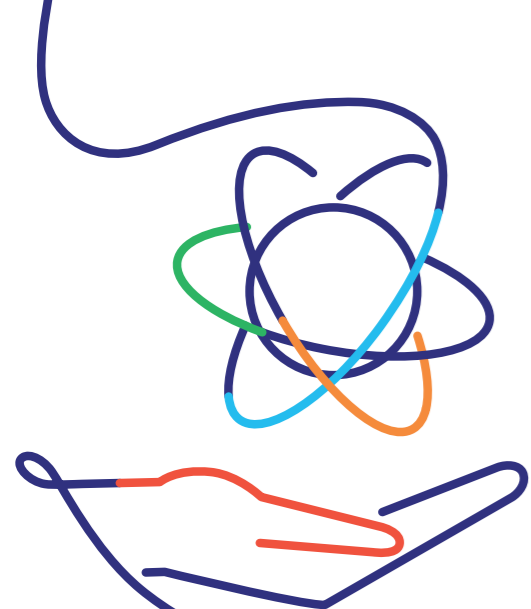


「つながる安心」を
カタチにする

*Creating security
with connectivity*





KDDIエンジニアリングは、
KDDIグループの「企業理念」のもと、
社会においてどのような存在でありたいかを
追求した「目指す姿」と
社会的存在意義を明示した「VISION 2030」を、
社内プロジェクトチームにより策定しました。

Vision 2030

「つながる安心」をカタチにする



技術力と実現力で未来を拓き快適な社会基盤をつくる

KDDIエンジニアリングは、変化し続ける時代に適応しながら、現場力を磨いてきました。
個々・組織の「技術力」と「実現力」で通信を核としたさまざまな視点から社会を支え、共に成長していきます。
いつでもどこでも、誰とでもつながる。
そんな日常を守りながら、安心して快適な未来をカタチにします。

Mission Statement

企業理念

KDDIグループは、全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
お客さまの期待を超える感動をお届けすることにより、
豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献します。

Company Vision

目指す姿

(いま)
「つながる現在」を守り
「つながる未来」を創り
笑顔あふれる暮らしを届け続ける

社長メッセージ

いつでも、どこでも、誰とでも
つながる安心をカタチにします



平素より、格別のご高配を賜り、お礼申し上げます。
企業理念である「豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献する」、また2030年ビジョン「『つながる安心』
をカタチにする」の実践、実現に向けて、個々・組織の「技術力」と「実現力」で通信を核としたさまざまな視点
から社会を支え、共に成長していきます。
いつでもどこでも、誰とでもつながる。
そんな日常を守りながら、安心して快適な未来をカタチにします。
さらに、積極的にさまざまな新規領域へチャレンジし、つながる未来を創り、笑顔あふれる暮らしをお届けします。
これからも従業員一丸となって、お客さまから信頼される企業を目指してまいります。
今後とも、一層のご支援ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年1月
KDDIエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 寺尾 徳明

Business Description

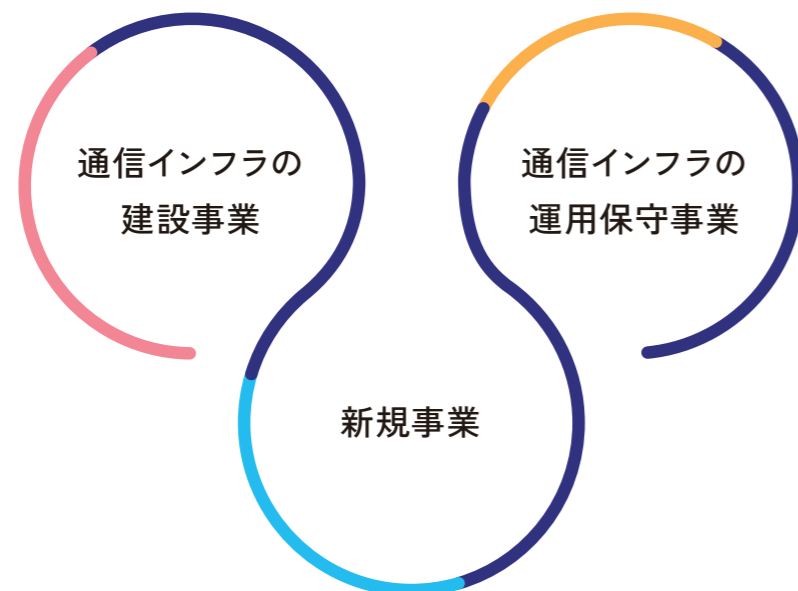
KDDIエンジニアリングの事業

つなげる力、 いつもあらたに

つながる日常を守り、社会を支え続ける。

「つながる安心」をカタチにする3つの事業

KDDIの通信インフラを建設から運用・保守までワンストップで担い、
培った技術で新たな事業を展開。
さまざまな社会課題の解決に貢献し続けます。



通信インフラの建設事業

建設事業では、ライフデザインによる新しい暮らしの実現と、
豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献するためのネットワークを構築しています。



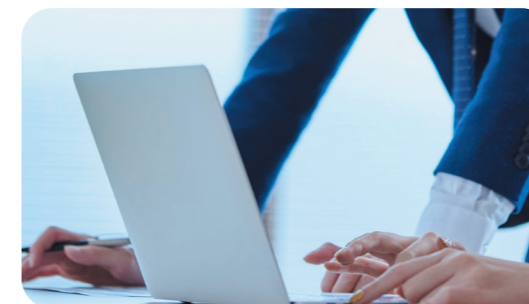
モバイル

スマートフォンを使用した音声・データ通信やキャッシュレス決済等の
さまざまなサービスを快適にご利用いただけるよう、通信エリアや設備の
設計を行い全国の基地局を建設しています。
通信品質調査やお客さまの声等から更なるエリア品質の改善に努めてい
ます。



ネットワーク

KDDIグループが提供する通信サービスの基盤となるネットワーク設備の
設計・建設を行っています。
デジタル化やデータ活用の進展に伴い急速に増加するデータ量に対応す
るため、ネットワークの高速・大容量化に向けた設備構築に取り組んでい
ます。



ソリューション

確かな技術と豊富な経験をもとにKDDIネットワークを活用した電気通信
設備（電話、LAN、光回線）の設計・工事や監視カメラ設備の導入を行って
います。
お客さまのニーズに応じたカスタマイズ設計を行い、最適なソリューション
を提供します。



ファシリティ

高い専門性と豊富な経験を活かし、通信局舎、データセンターのファシリ
ティ（建築・電力・空調・防災・監視等）設計・建設を行っています。
単なるインフラの整備にとどまることなく、安全で快適な未来社会の実現
を推進します。

通信インフラの運用保守事業

現代社会において、通信はあらゆるものに溶け込んでおり、従来の電話・インターネットに加え、金融・電子決済など、社会的役割がより一層重要になっています。KDDIエンジニアリングの運用保守事業は、安心安全かつ快適なKDDIサービスをお届けするため、24時間365日体制で、通信・技術の品質を磨き続け、いつでもどこでも、誰とでもつながる社会に寄与します。



サービス運用監視

KDDIが提供する通信ネットワークおよび多様なサービスに関して、東京と大阪の2拠点で24時間365日体制で運用監視を一元的に行っています。この運用監視は、運用者の熟練された技術力と運用自動化の融合により、万一の異常時においても、サービス影響の把握と復旧オペレーションを可能とし、新技術・サービスへもいち早く対応を行っています。



設備保守・保全

全国に設置されたKDDIネットワークセンターの電力・空調等の局舎設備、通信設備、および基地局設備の保守・保全を行うとともに、基地局設備の登録検査事業者として法定点検も請け負い、KDDI通信設備の品質向上に努めています。



サービスエリア品質向上

auサービスエリア構築後のさまざまな環境変化に対し、引き続き、お客さまに快適にauサービスをご利用いただくため、あらゆるデータ分析と現地調査によりエリア品質改善の取り組みを行っています。また、一時的にお客さまが増える全国各地の大規模イベントにおいては、臨時の基地局（車載型基地局等）を設置し、電波・エリア対策を行っています。【主な対応イベント】 花火大会、音楽フェス、カルチャーイベント



災害対策

毎年のように発生する台風・地震等の自然災害は、お客さまの生活や社会にも大きな影響を与えています。災害時でもお客さまの大切な通信をつなぐため、いち早く現地に駆け付け、車載型基地局・可搬型基地局等によるエリア復旧に努めています。また、災害復旧システムを活用し、刻一刻と変化する現場状況を、災害現場と災害対策本部がリアルタイムに把握し、復旧活動をサポートしています。

新規事業

通信インフラの建設・運用保守で培った豊富な経験を活かし、お客さま向けにさまざまな新規事業を展開しています。最新のネットワーク技術を活用したソリューション提供によるお客さまの課題解決や、太陽光発電所や蓄電池の建設を通じたカーボンニュートラルの実現をサポートしています。



カーボンニュートラル

KDDIグループのCO2排出量ゼロをはじめ、さまざまな企業のカーボンニュートラルに向けた取り組み、社会のクリーンエネルギーへの取り組みを推進します。

- ・太陽光発電所建設
- ・系統用蓄電池施設建設



ネットワークソリューション

あらゆるものが通信でつながる時代において、常に最新技術を追求し、地域やお客さまの課題に真摯に寄り添いながら、安心して快適なネットワーク環境構築に技術力と実現力で貢献します。

- ・ネットワーク環境構築
(ローカル5G、Wi-Fi、有線LANなど)



あるべき未来も、 その先の未来も

技術力と実現力で確かな通信インフラを創り・守り
新たな未来を切り拓いていく

暮らしのあらゆるものが通信インフラの上に成り立っている時代。

私たちには2つの大きな使命があります。

1つは、通信サービスの基盤を創り、守っていくこと。

もう1つは、その過程で培った技術を活かし、新たな未来を切り拓くこと。

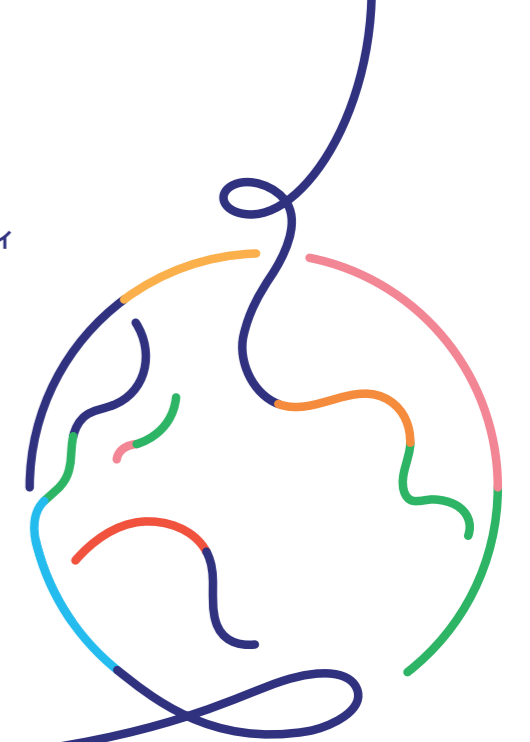
あるべき未来とその先の未来を支えるために、

KDDIエンジニアリングはすべての従業員、パートナーさまとともに成長し続けていきます。

Sustainability
サステナビリティ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

KDDIエンジニアリングは
持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



サステナビリティへの取り組み

KDDIエンジニアリングは、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、事業を通じて社会の課題解決に取り組んでいます。



KDDIエンジニアリング Sustainable Vision

新たな未来を切り拓くために私たちが取り組む3つのテーマ

未来へ続く地球を創る

- 7 エネルギー効率の改善、再生エネルギーの利用拡大**
- 12 廃棄物の削減・再生利用・再利用**
- 13 温室効果ガスの排出量抑制、再生可能エネルギーの利用**

未来へ続く命を守る

- 9 産業と技術革新の基盤のための、強靱な通信インフラ整備**
- 11 地方への強靱な通信インフラ整備**
- 13 自然災害への強靱性・適応力・復旧力の強化**

未来へ続く道を切り拓く

- 5 ジェンダー平等の促進**
- 8 働きがいで経済成長を**
- 10 人の不平等をなくす**
- 16 コンプライアンスへの貢献**



パートナーシップで未来へ

カーボンニュートラルへの取り組み



路面型太陽光パネルを実証実験中

道路や駐車場に設置する「路面型太陽光パネル」の実証実験を行っています。車両等の通行・駐車も可能で、水害や台風等の気候条件にも強く、災害時の活用も見込んでいます。

7 9 12 13

携帯電話基地局の建設・保守

強靱で高品質な通信インフラの整備

全国各地に強靱で高品質な通信インフラを届けるために、土木・電気・通信の技術を駆使して基地局の建設・保守を遂行。災害時にも迅速な復旧を可能にしています。

9 11 12 17



人財育成・職場環境

社員の成長と健康を支える環境づくり

公的資格取得支援制度や、専門スキル向上を目的としたさまざまな研修カリキュラムを実施。また、社員一人ひとりの健康を組織で支える健康経営を推進し、豊かな未来に向けて挑戦し続けることを宣言しています。

5 8 10 16





笑顔あふれる暮らしを 届け続ける力を育み支えていく

働く未来デザイン

KDDIエンジニアリングは、技術力と実現力で社会への貢献を続けています。

そのためには、一人ひとりが成長していける環境づくりが欠かせません。

働く環境を育み、ともに未来を思い描いていく、当社の取り組みをご紹介します。

健康経営

KDDIエンジニアリング健康経営宣言

KDDIエンジニアリングは、従業員が幸せで、活力ある企業であり続けるためには、従業員の「健康」が重要な経営課題と捉え、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、お客さまの期待を超える感動をお届けすることにより、豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献します」との企業理念のもと、従業員一人ひとりの健康を組織で支える健康経営を推進し、豊かな未来に挑戦し続けることを宣言します。

1. 従業員自身が自律的に健康の保持・増進に取り組むことを積極的に支援します。
2. 従業員と従業員の家族が笑顔で過ごせるよう、会社・KDDI健康保険組合・KDDI労働組合が一体となって、心身の健康作りを推進します。
3. 従業員の心身の健康の保持・増進への取組みにより、KDDIエンジニアリングに「健康を大切にす文化」を定着させ、従業員の活力と生産性の向上を追求します。

2024年4月

KDDIエンジニアリング株式会社

人財育成

KDDIエンジニアリングでは「人材」を「人財」と表現します。従業員は会社のかけがえのない財産。その思いから人財の育成を行ってきました。すべては「いつでもどこでも、誰とでもつながる」ことを可能にするため、そして、安心・安全で快適なコミュニケーション環境をサポートし続けるためです。それを実現するためには、高い技術力を身につけた「プロ人財」が欠かせません。従業員一人ひとりが自ら挑戦し、「プロ人財」として成長していくための人財育成の取り組みや施策をご紹介します。



人財育成の取り組み

未来を切り拓くプロ集団になるために、従業員一人ひとりの成長意欲・組織のパフォーマンス・会社力の向上を目指し、さまざまな取り組みを行っています。



技能コンテスト

「多くの人々の暮らしを支える存在でありたい」、「未来につながる通信インフラを手掛けていきたい」その思いから従業員は日々、技術力の向上に挑戦し、高度な技術習得に努めています。その技術力を発揮し、披露する場が「技能コンテスト」です。



技能認定制度

社員に求められる資格取得、研修受講、業務スキルを体系化し、技能レベルを3段階（トリプルスター～シングルスター）で判定する技能認定制度を導入して、キャリア形成を支援しています。

公的資格取得者数（2025年3月現在）

1級電気工事施工管理技士	53名
1級電気通信工事施工管理技士	12名
1級土木施工管理技士	13名
1級管工事施工管理技士	6名
1級建築施工管理技士	3名
1級構造設計建築士	1名
1級設備設計建築士	1名
1級建築士	3名
2級建築士	5名
建築設備士	1名
第一種電気工事士	52名
第二種電気工事士	280名
第二種電気主任技術者	3名
第三種電気主任技術者	25名

電気通信主任技術者 伝送交換	160名
電気通信主任技術者 線路	31名
工事担任者 総合通信	296名
甲種 消防設備士	28名
乙種 消防設備士	61名
第一級総合無線通信士	7名
第一級陸上無線技術士	106名
第二級陸上無線技術士	61名
第一級陸上特殊無線技士	630名
MCPCモバイルシステム技術検定2級	720名
情報処理技術者 ネットワークスペシャリスト	2名
情報処理技術者 応用情報技術者	15名
情報処理技術者 情報セキュリティマネジメント	48名
情報処理安全確保支援士	3名

DE&I (ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)

DE&I推進宣言

思い続ける、考え続ける、そして行動する。

その積み重ねが、確かな成果へとつながります。

DE&I推進は、私たちの「VISION 2030」の実現に向けた、力強い一歩です。

私たちは、日々の業務の中で理想を描き、課題に向き合い、挑戦を重ねながら、未来を切り拓いてきました。その原動力は、一人ひとりが持つ多様な「個性」から生まれる「思い」、「考え」、「行動」にあります。私たちは、DE&I (ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン) の推進を通じて、こうした「個性」を組織の力へと昇華させ、互いに共調し、変化を恐れず、誰もが輝ける未来を社会と共に創造していきます。この歩みを止めることなく、私たちはお客さまから信頼される企業を目指して、挑戦を続けていきます。

KDDIエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 寺尾 徳明

仕事と育児・介護の両立支援

KDDIエンジニアリングでは、仕事と育児・介護の両立支援のため、さまざまな制度を導入しています。

育児関連制度	<ul style="list-style-type: none">産前産後休暇、出産休暇 (男性向けの有給休暇・3日間)出生時育児休職 (生後8週まで最大28日間取得可能)、育児休職 (子が2歳になる前日まで取得可能)子の看護休暇 (子が9歳になる年度の末まで、子ひとりにつき年間5日分・最大10日分取得可能)時間外労働免除勤務時間繰り上げ下げ制度※ など
介護関連制度	<ul style="list-style-type: none">介護休暇 (介護対象者1名につき、年間5日分・最大10日分取得可能)介護休職 (介護対象者1名につき、最大365日分取得可能)
育児介護共通	<ul style="list-style-type: none">短時間勤務制度※深夜勤務免除※時間外労働制限※ ※育児に関しては、子が12歳になる年度の末まで利用可能

この他、テレワークや変形労働時間制・フレックスタイム制勤務といった柔軟な働き方ができる制度を設けています。

次世代育成支援の推進

次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境を整備するために、国、地方公共団体、企業、国民が担う責務を明らかにした「次世代育成支援対策推進法」による、社員の仕事と子育ての両立を図るため「一般事業主行動計画」を策定しました。

KDDIエンジニアリングの具体的取り組み

KDDIエンジニアリングでは、DE&I推進のため、さまざまな取り組みを実施しています。

教育・啓発活動	<ul style="list-style-type: none">全社向けの教育コンテンツの配信男性社員の育児休業取得促進ハラスメント防止LGBTQ+への理解促進
両立支援	<ul style="list-style-type: none">仕事と育児・介護の両立支援を目的としたハンドブックの展開や問い合わせ窓口の設置育児中社員向けのコミュニティ活動の実施育児休職を取得した社員へのアンケート実施結果公開
制度	<ul style="list-style-type: none">テレワークや変形労働時間制・フレックスタイム制勤務など柔軟な働き方ができる制度の導入パートナーシップ制度およびファミリーシップ制度の導入不妊治療のために利用できる休暇制度の導入

女性が働きやすい環境づくりの推進

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」により、女性が働きやすい環境づくりを進めるため、当社の女性の活躍に関する状況把握・課題分析の結果を踏まえ、「一般事業主行動計画」を策定しました。

働き方改革

KDDIエンジニアリングは、通信インフラを支える「技術力」と「実現力」を強みに、社会の安心・安全を提供してきました。私たちは、従業員一人ひとりが最大限の力を発揮できる環境を整えることが、企業の持続的成長につながると考えています。そのため、働き方改革を経営の重要課題と位置づけ、柔軟な働き方や自律的なキャリア形成を推進しています。

勤務制度

フレックスタイム制勤務	コアタイムなしのフレックスタイム制を導入しております。
テレワーク勤務	成果の最大化と多様な働き方を実現するため、自宅やサテライトオフィスでの勤務が可能です。
勤務間インターバル制度	シフト制や休日出勤の場合も必ず一定のインターバルを設け、休息をしっかりとったうえで翌日の勤務を行う仕組みがあります。
変形労働時間制勤務	一定の期間 (1ヶ月または3ヶ月) において、業務の繁忙に応じて1日の勤務時間を柔軟に長くまたは短く設定できる制度です。

休暇制度

年次有給休暇	有休取得率は全社で8割を超えています。また、入社初日から有休付与されます。
有給休暇積立制度	未取得となった年次有給休暇を20日を限度に積み立てられる制度です。自身の私傷病、自身の不妊治療、家族の介護・看護およびボランティアのため等に利用が可能です。
半日有給休暇制度/時間単位有給休暇制度	半日、1時間単位で休暇取得できる制度です。通院や所用の対応にも効率的に休暇を利用可能です。
フリーパケーション制度	夏期に限らず年次有給休暇を連続5日間取得できる制度です。
リフレッシュ休暇制度	勤続年数15年の社員に対して10日の休暇付与と支援金、満50歳の社員に対して15日の休暇付与と支援金を支給しています。

キャリア形成

社内公募	人財を必要とする部署が社内公募をかけ、社員が自らの意思で応募を行い、人事異動を実現する制度です。
社内FA制度	一定条件を満たした社員が自らの意思で希望する部署へ応募を行い、希望の人事異動を実現する制度です。



沿革

2005年 4月	株式会社KDDIテクニカルエンジニアリングサービス設立
2005年 6月	無線局登録点検事業許可
2005年 7月	特定労働者派遣業届出
2005年 8月	特定建設業（電気工事業、電気通信工事業）許可
2005年 10月	ビル管理事業 開始
2005年	au無線基地局保守 開始 通信設備運用保守支援 開始 ADSL設置工事・保守 開始 KDDIかけつけ設定サポート業務 開始 ネットワークセンター電力設備工事 開始 auひかりFTTH 開通支援管理 開始
2006年 7月	ISO9001認証取得（特定事業所）
2007年 1月	ISO14001認証取得
2007年 7月	特定建設業（管工事業）許可
2008年 2月	特定建設業（土木工事業一式）許可
2008年	WiMAX無線基地局建設・保守 開始
2009年 11月	ISO27001認証取得
2009年 12月	国土交通大臣特定建設業（土木工事業、電気工事業、管工事業、電気通信工事業）許可
2010年 5月	国土交通大臣特定建設業（とび・土木工事業、鋼構造物工事業）許可
2010年 9月	古物商業（機械工具類）許可
2010年	KDDIアクセスネットワーク工事管理・設計業務 開始
2011年	au無線基地局建設 開始 Wi-Fi AP機器設置 開始
2012年 4月	「KDDIエンジニアリング株式会社」へ社名変更
2012年	モバイル通信設備トンネル内構築工事 開始 太陽光発電所建設・保守 開始 CATVファシリティ設備工事・保守 開始
2013年 5月	国土交通大臣一般建設業（消防施設工事業）許可
2013年 6月	無線局登録検査等事業許可
2014年	700MHzテレビ受信障害対策 開始
2015年	ミャンマー通信事業サポート 開始
2016年 2月	登録電気工事業者 経済産業大臣届出
2017年 2月	国土交通大臣特定建設業（塗装工事業）許可
2018年	モンゴル通信局舎建設補助業務 開始
2019年 4月	国土交通大臣特定建設業（解体工事業）許可
2021年 4月	KDDI株式会社からの移管により建設業務及び運用保守業務を拡充 事業領域毎に組織を再編
2025年 2月	国土交通大臣特定建設業（建築工事業、内装仕上工事業）許可
2025年 5月	一級建築士事務所登録

許認可・資格

一級建築士事務所

登録番号：東京都知事第66668号

特定建設業（土木工事業、電気工事業、鋼構造物工事業、電気通信工事業、とび・土工事業、管工事業、塗装工事業、解体工事業、建築工事業、内装仕上工事業）

許可番号：国土交通大臣許可（特-6）第23357号

一般建設業（消防施設工事業）

許可番号：国土交通大臣許可（般-6）第23357号

登録電気工事業者

経済産業大臣届出 第27038号

無線局登録検査等事業

登録番号：関検第0029号

古物商業（機械工具類）

許可番号：東京都公安委員会許可第304361008602号

ISO9001認証取得：MSA-QS-4377

電気通信施設、電気施設の設計・施工・引き渡し後の活動およびエンジニアリング

電気通信施設、電気施設の運用・保守・点検
移動体基地局のエリア品質設計および解析
電気通信施設および付帯施設の設計・管理

ISO14001認証取得：JQA-EM3768

ISO27001認証取得：IC22J0550

所在地

■ 本社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7
新宿文化クイントビル



■ 支社

東日本運用本部

東日本支社

〒980-0023 宮城県仙台市青葉区北目町7-27
KDDI仙台第二ネットワークセンター

北関東支社

〒323-0827 栃木県小山市大字神鳥谷1828
KDDI小山ネットワークセンター

南関東支社

〒163-8003 東京都新宿区西新宿2-3-2
KDDIビル

多摩支社

〒206-0035 東京都多摩市唐木田3-2
多摩第四ネットワークセンター

西日本運用本部

中部支社

〒464-0850 愛知県名古屋市千種区今池4-6-23
DFビル本館

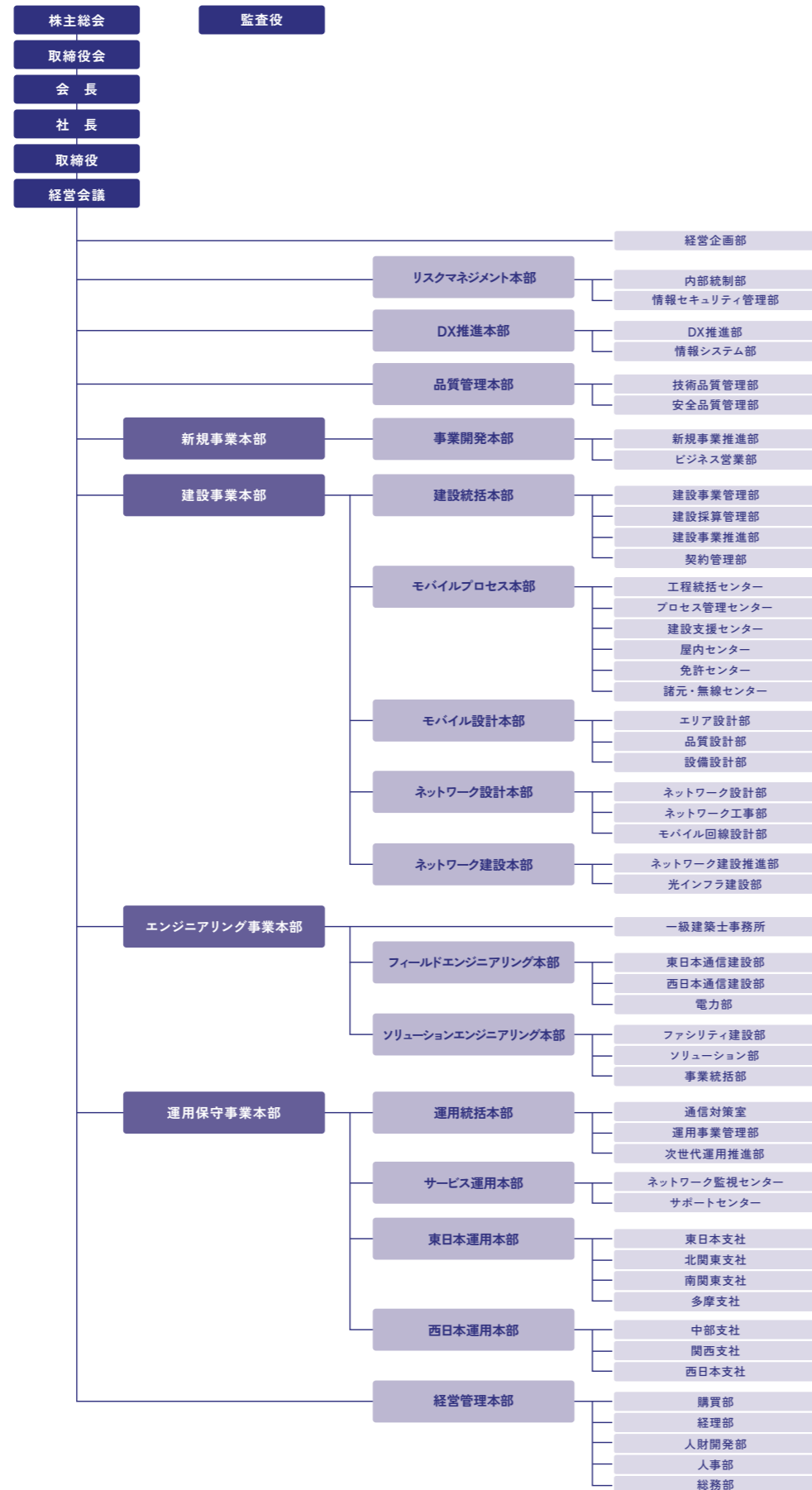
関西支社

〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-2-72
KDDI大阪第2ビル

西日本支社

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜2-3-9
KDDI福岡第二ネットワークセンター

組織図 (2026年4月1日現在)



会社概要

社名	KDDIエンジニアリング株式会社
設立	2005年4月1日
本社所在地	〒151-0053 東京都渋谷区代々木3丁目22番7号 新宿文化クイントビル
代表取締役社長	寺尾 徳明
資本金	15億円 (KDDI株式会社100%)
従業員数	3,430名 (2026年4月1日現在)
事業内容	通信設備の建設工事・運用保守支援、コンサルティング、工事設計施工、運用保守業務の提供

役員一覧 (2026年4月1日付)

代表取締役会長	佐藤 進	
代表取締役社長	寺尾 徳明	経営企画部管掌
代表取締役執行役員副社長	櫻井 桂一	リスクマネジメント本部及び品質管理本部管掌
取締役執行役員専務	井関 浩	DX推進本部管掌
	上口 洋典	運用保守事業本部長
	鍋谷 幸一	新規事業本部長
取締役執行役員常務	森下 典昭	
	木下 雅臣	建設事業本部長
	白石 淳二	経営管理本部管掌
取締役執行役員	大内 良久	エンジニアリング事業本部長
取締役	山本 和弘	
監査役	山中 直樹	
	吉田 尚弘	
執行役員常務	藤山 尚紀	新規事業本部 副事業本部長 兼 事業開発本部長
	濱口 祐吉	建設事業本部 副事業本部長
	町田 勝昭	経営企画部長
	中山 典明	建設事業本部 モバイル設計本部長
執行役員	田中 直幸	経営管理本部長
	廣田 徳孝	運用保守事業本部 東日本運用本部長
	中野 貴治	建設事業本部 副事業本部長 兼 モバイルプロセス本部長
	森田 実	運用保守事業本部 副事業本部長



Corporate Profile

<https://www.kddi-eng.com>

KDDI エンジニアリング株式会社